

モニタリング結果報告書 (令和5年度)

1. 施設概要

施設名	神奈川近代文学館		
所在地	横浜市中区山手町110		
サイトURL	https://www.kanabun.or.jp/		
根拠条例	神奈川県立神奈川近代文学館条例		
設置目的(設置時期)	近代文学に係る図書及びその著者の遺品等を収集し、整理保存し、及び展示し、並びに近代文学に係る図書を閲覧に供するとともに、併せて県民に文化活動の場を提供するため。(昭和59年4月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川文学振興会		
指定期間	R3.4.1 ~ R8.3.31 (2021年) (2026年)	施設所管課 (事務所)	文化課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>令和5年度は、神奈川近代文学館として初めて映画監督を主題とした春の特別展「生誕120年 没後60年 小津安二郎展」や新発見資料を展示した秋の特別展「没後30年 井伏鱒二展 アチラコチラデブンガクカタル」が報道各社で取り上げられるなどしたことから、来館者数の増加に繋がり、利用状況は好調であった。また、ゲームやコミックスとのコラボレーションを実施し、次代を見据えた取組を着実に進めている。</p> <p>空調設備等の修繕費の増や物価の高騰による経費の増など、維持費に大幅な増があったが、観覧料収入等の好調による増収分をあてることで、収支比率は100%となった。</p> <p>利用者満足は非常に高く、3項目評価は全体として良好であることから、A評価とした。</p> <p>今後も多様な分野の展示や集客力のあるイベントを実施し、近代文学及び近代文学館への興味を喚起できる取組の充実を期待する。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none">◆管理運営等の状況 年間の展示室入館者数は令和4年度に続き、4万人台に達した。◆利用状況 展示室・閲覧室・会議室の利用者数は展覧会観覧者数の増により62,557人となりコロナ禍の影響を脱するものとして策定した目標の60,400人を上回ることができた。目標達成率は103.6%でA評価となった。◆利用者の満足度 10月～11月の特別展「井伏鱒二展」(入場者数8,125人)の実施時期に来館者とホームページ閲覧者を対象に満足度調査を行い、上位2段階の回答割合が98.3%だったため、S評価となった。◆収支状況 空調設備等の修繕費増により維持費の大幅な支出増、物価の高騰による全体的な経費の増があったが、観覧料収入等の好調による増収をあてることで、収支比率100%となり、A評価となった。◆苦情・要望等 来館者から寄せられた要望等については、近代文学館で適切に対応した。◆事故・不祥事等 経年劣化による設備の不具合が各所で続いている旨、近代文学館から報告を受けている。◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。◆その他 令和5年度の3項目評価についてはA評価とした。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	A	S	A	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	随時 (月1～2回程度)	工事予定箇所及び工事実施状況の確認等を行った。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	月1回程度	施設の利用状況や懸案事項等について協議した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>・より多くの来館者を獲得するために、様々なニーズに応じた展示を企画、開催する。(集客を目指す展示、独創性のある展示、他機関との連携など、事業の広がりを意識した展示など)</p>	<p>4～5月 特別展「生誕120年 没後60年 小津安二郎展」 入場者数12,416人</p>	<p>・特別展「生誕120年 没後60年 小津安二郎展」は、当館としては初めての映画監督の展示となった。文芸作品を多く映画化している小津は、戦後鎌倉に住み、『晩春』『麦秋』『東京物語』などの脚本を湘南の旅館・茅ヶ崎館で執筆、また、戦前から県内各地を撮影地とするなど、神奈川とゆかりが深い。ポスター、スチール写真のほか、小津のノート、メモ、書簡、愛用品や、交友・時代背景をうつす資料により小津の生涯と小津映画の変遷を辿り、神奈川県に残した小津の足跡にも焦点を当てた。報道各社で取り上げられたことや、行動規制のない大型連休の効果もあり、総観覧者数は12,416人となった。</p> <p>・秋の特別展「没後30年 井伏鱒二展 アチラコチラデブンガクカタル」では昨年度の「川端康成展」に続き、オンラインゲームとタイアップイベントを企画。昨年同様、若年層の参加者に、より深く展示内容に興味を持っていただくことができた。</p> <p>・冬季は常設展を2回開催した。「文学の森へ 神奈川と作家たち 第3部—太宰治、三島由紀夫から現代まで」ではコミックスとコラボレーションを実施。井伏展でのコラボ同様、次代を見据えたイベントへの取組を着実に進めている。</p>
	<p>5～7月 企画展「本の芸術家・武井武雄展」 入場者数5,136人</p>	
	<p>7～9月 企画展「『おまけ』と『ふろく』展 子どもの夢の小宇宙」 入場者数7,891人</p>	
	<p>10～11月 特別展「没後30年 井伏鱒二展 アチラコチラデブンガクカタル」 入場者数8,125人</p>	
	<p>12～1月 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」第2部—芥川龍之介から中島敦まで コーナー展示：没後50年大佛次郎展—戦後の仕事— 入場者数1,622人</p>	
<p>2～3月 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」第3部—太宰治、三島由紀夫から現代まで 入場者数9,214人</p>		

<p>・館所蔵、新収蔵資料を柱に構成した展覧会を積極的に開催する。</p>	<p>・企画展「本の芸術家・武井武雄展」では、2011年に平尾榮美氏から当館に寄贈された1,800点にのぼるコレクションを中心に、武井武雄が童画、版画の創作と並行して取り組んだ「武井武雄刊本作品」に焦点をあてて展示した。</p> <p>・企画展「『おまけ』と『ふろく』展 子どもの夢の小宇宙」では、滑川道夫文庫の少年少女雑誌とその付録のほか、キャラメルのおまけとしてこどもたちを夢中にさせた「カバヤ文庫」、「少女の友」関連資料等幅広い資料を展示した。</p> <p>・冬季の常設展第2部では、コーナー展示「没後50年 大佛次郎展—戦後の仕事—」を併設し、戦後の作品を中心に、大佛次郎記念館と当館所蔵の資料約100点を展示した。</p>	<p>・展覧会についての報道を通じて近代文学館の資料収集成果をPRすることができた。</p>
<p>・特別展や企画展と連携した講演会、朗読会、講座、映画会など開催し、利用者のニーズに応える。</p>	<p>4～5月</p> <p>※< >内に定員を減らして実施</p> <p>小津安二郎展記念講演会 1回<95%> 同展記念無声映画上映会 1回 同展ｽﾗｲﾄﾞﾄｰｸ 8回 (「小津展」記念上映会 4回<95%>)</p> <p>5～7月</p> <p>武井武雄展記念講演会 1回 同展ｽﾗｲﾄﾞﾄｰｸ 3回 (同展ワークショップ 2回) (小林秀雄連続講演会 1回) (朗読コンサート 1回)</p> <p>7～9月</p> <p>おまけとふろく展記念対談 1回 同展記念講演会 1回 同展ｽﾗｲﾄﾞﾄｰｸ 3回 (かなぶんキッズｸﾗﾌﾞ <映画会、紙芝居、絵本の 読み聞かせほか> 4回) (DVD上映会 1回) (高校生向け事業 1回)</p> <p>10～11月</p> <p>井伏鱒二展記念オンラインイベント 1回 同展記念講演会 1回 同展講座 1回 同展ｽﾗｲﾄﾞﾄｰｸ 7回 (同展記念上映会 2回) (「文字・活字文化の日」記念行事 <ｽﾗｲﾄﾞﾄｰｸ> 1回) (開館40周年記念企画 1回) (高校生向け事業 1回) (シンポジウム(共催) 1回) 「デジタル文学館」への追加 ・「井伏鱒二展」オンラインイベント ・開館40周年記念企画①ﾀﾞｲｼﾞｪｽﾄ</p> <p>12～1月</p> <p>(開館40周年記念企画 2回) (小林秀雄連続講演会 1回) (かなぶん連句会 1回)</p> <p>2～3月</p> <p>(文豪ｽﾄﾚｲﾄﾞｯｸﾞｽｸｰﾙ 講演会 1回) (朗読会(共催) 1回) (講演会 1回) (朗読会 1回) (学会(共催) 1回) (かなぶんキッズｸﾗﾌﾞ <映画会、紙芝居ほか> 3回)</p>	<p>・展覧会に連携した講演会、文字活字文化振興を目的とした講談会等の多彩なイベントを実施した。</p> <p>・開催時の感染症対策として、5月8日までのイベントは< >内の割合に定員を絞って実施した。</p> <p>・井伏鱒二展では、初の試みとしてオンラインイベントを開催した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症による休館期間から開始したオンライン事業でも、動画視聴数を伸ばすことができた。</p>

<p>・専門図書館として文学のレファレンスにきめ細かく対応する。</p> <p>〔参考〕レファレンス：文学に関する情報や資料の各種問合せに対し、情報提供、調査のレポートを行うサービス。利用案内、資料提供なども含む。専門的な質問も多く、公共図書館等他施設からの照会もある。</p>	<p>レファレンス件数 199件</p>	<p>・利用者からの様々な問合せに対応し、専門的施設としての役割を果たした。</p>
---	----------------------	--

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
<p>開催中の文学展と連携した読書コーナーを閲覧室内に設け、来館者の展示観覧後の読書意欲を満たす環境を提供することで収蔵資料の利用を促進する。</p>	<p>4～5月 特集・映画と日本文学 利用者数1,531人 5～7月 特集・武井武雄 利用者数994人 7～9月 特集・少年少女雑誌 利用者数1,164人 10～11月 特集・井伏鱒二 利用者数1,050人 12～1月 特集・大佛次郎 利用者数508人 2～3月 特集・太宰治 利用者数950人 3月 特集・橋本治 利用者数76人</p>
<p>「神奈川近代文学館友の会」の会員を募り、文学館事業への参加を促す。</p>	<p>会員数990名 友の会会員の集い 1回 友の会講座(会員以外も参加可) 1回 文学散歩 6回 会員限定ギャラリートーク 2回 読書会 1回 ・初の試みとして、小津安二郎展では閉館後、展示室内で実際に展示物を前に行う会員限定のギャラリートークを開催した。また、冬季の常設展会期中に、読書会を開催した。</p>
<p>文学振興に理解ある法人や個人から資金面で財団事業を支援していただくため「神奈川近代文学館を支援(サポート)する会」会員を募り、広報宣伝活動にも協力いただく。</p>	<p>会員数103名(122口) 機関紙「神奈川近代文学館」の配布、展覧会への招待を行い、「支援する会」会員の企業及び団体からはポスターの掲出、チラシの配布、学校動員など各展覧会について広報宣伝活動の支援を受けた。</p>
<p>研究者や専門家の立場から学術面等で協力を得るための支援組織「神奈川近代文学館懇話会」により人的ネットワークによる事業支援をいただく。</p>	<p>会員数76名 機関紙「神奈川近代文学館」等の配布を通じて最新の事業内容を報告、会員からは総会場で事業運営等について意見や提言をいただいた。 12月に第14回総会を開催 参加人数12人</p>

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
A	

	前々年度	前年度	令和5年度
利用者数※	29,787	57,983	62,557
対前年度比		194.7%	107.9%
目標値	48,300	48,400	60,400
目標達成率	61.7%	119.8%	103.6%

目標値の設定根拠： 経営改善目標

利用者数の算出方法（対象）： 観覧券の枚数、受付係員がカウント（展示観覧者数）＋
 閲覧カウンター職員がカウント（閲覧室利用者数）＋利用申請者が予約システムに入力した人数（会議室利用者数）

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

令和2年度第3回第三セクター等改革推進部会（令和3年3月29日開催）における経営改善目標の策定の中で、提案時の目標値を一部変更し、令和3年度～令和7年度の目標値を設定した。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	<p>(1) 簡易アンケート 管理施設の窓口に常時用紙を備え、利用者に記入していただくなど、簡便な方法で随時に実施するアンケート</p> <p>(2) 詳細アンケート アンケート用紙を利用者に一斉に送付し、回収・分析するなど、詳細な内容で定期的実施するアンケート R5年度は以下の方法で実施した。 ①来館者アンケート 展示室出口に常時用紙を設置し、行うほか、受付でwebアンケートのリンクを配布し実施した。イベント参加者、会議室利用者、閲覧室利用者へも用紙を配布した。 ②未来館者アンケート 来館していない方を対象に webアンケートを実施した。実施にあたってはX(旧Twitter)やHPで告知した。</p>	<p>井伏展では、前年度の川端康成展に続き、来館者の幅を広げるために、文豪をテーマにしたオンラインゲーム「文豪とアルケミスト」（略称文アル）とのタイアップイベントを企画した。アンケートからもファンが熱心に観覧したことが伺え、若年層の文学への興味を呼び起こす仕掛けとして成果をあげたと捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内、都内、県外それぞれからの来館者の割合は、前年度の川端展とほぼ同じ傾向を示した。 ・展示の内容について、特に「掘り下げ方」の項目で上位2項目の計が91.5%と高い評価を得た。アンケートには「テーマごとの解説がわかりやすかった」等の声が寄せられた。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 来館者：以下の項目について、どのようにお感じになりましたか。 >④全体評価
Web：8. 利用なさっての全体評価をお願いします。

実施した調査の配布方法 受付等に配架、HP 掲載 回収数/配布数 552 / =

配布(サンプル)対象 来館者(展示観覧、イベント、会議室、閲覧室)、HP利用者
※項目未回答者あり

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	311	161	5	3	480	観覧者が多数の場合でも落ち着いて観覧できるよう工夫してほしいとの意見があったため。
回答率	64.8%	33.5%	1.0%	0.6%		
前年度の回答数	342	180	11	0	533	
前年度回答率	64.2%	33.8%	2.1%	0.0%		
回答率の対前年度比	101%	99%	50%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	410,043	8,059	45,428	受取利息収入 15 事業収入 5,530 立替金収入 157 雑収入 252 退職給付引当預 金取崩収入 39,474	463,530	463,530	0	
	決算	410,043	7,654	44,300	受取利息収入 2 事業収入 4,327 立替金収入 116 雑収入 168 寄附金収入 5 補助金収入 208 退職給付引当預 金取崩収入 39,474	461,997	461,992	5	100.00%
前年度	当初予算	410,043	8,259	6,054	受取利息収入 15 事業収入 5,830 雑収入 209	424,356	424,356	0	
	決算	410,043	14,674	39,894	受取利息収入 2 事業収入 6,351 雑収入 188 寄附金収入1,100 補助金収入 109 退職給付引当預 金取崩収入 32,144	464,611	464,610	1	100.00%
令和5年度	当初予算	410,043	8,559	27,623	受取利息収入 15 事業収入 6,130 立替金収入 157 雑収入 152 退職給付引当預 金取崩収入 21,169	446,225	446,225	0	
	決算	413,887	15,463	27,015	受取利息収入 2 事業収入 7,204 立替金収入 0 雑収入 185 退職給付引当預 金取崩収入 19,624	456,365	456,362	3	100.00%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和5年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	アンケート	1 件	会場内に休める椅子などがあると良い。	各展示担当が会場レイアウト作成時に、休憩スペースを設けるよう再度確認した。
	アンケート	2 件	照明が暗い。	資料保存の為、照度を抑えている旨の掲示を増やした。
職員対応	アンケート	5 件	観覧者の私語を注意して欲しい。	警備員巡回に加え、受付交代時に巡回を実施。職員も随時見廻りを行った。
	アンケート	3 件	写真を撮っている人がいたので注意して欲しい。	観覧者から受付等に知らせがあった場合には、必ず現場で巡回確認をしている。
事業内容	アンケート	3 件	文豪ストレイドッグスとのコラボ期間の観覧について、事前予約制をとるなど落ち着いて観覧できるようにしてほしい。	常設展での文豪ストレイドッグスとのコラボについて、初日に多数の観覧者があったため、2日目以降、コラボ参加を予約制とした。
その他				

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。